指定管理者の指定管理に関する評価シート

1 指定概要

施設概要	名称	放課後子どもひろばしちりがはま・鎌倉市しちりがはま子どもの家「なみのね」
	所在地	鎌倉市七里ガ浜東五丁目3番3号
	名称	放課後子どもひろばふじづか・鎌倉市ふじづか子どもの家「かなりや」
	所在地	鎌倉市寺分418番地10
	名称	放課後子どもひろばおおふな・鎌倉市おおふな子どもの家「つばめ」
	所在地	鎌倉市大船二丁目10番3号
	名称	放課後子どもひろばだいいち・鎌倉市だいいち子どもの家「うみがめ」
	所在地	鎌倉市由比ガ浜二丁目9番13号
	名称	放課後子どもひろばおなり・鎌倉市おなり子どもの家「こぼと」
	所在地	鎌倉市御成町18番10号
指定管理者	名称	株式会社理究キッズ
	住所	横浜市西区高島二丁目14番17号
指定管理期間	令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027年)3月31日	

2 評価

(1) 管理運営の状況

項目	評価内容	適否
開館時間、休館日等	仕様に定められた開館予定日数、開館時間は守られているか。	△
管理運営体制	①利用者数は適正か	○
	②業務執行体制(各業務、作業の責任者等)が明確になっているか。	○
	③業務に必要な職員数は確保されているか。	○
	④管理運営及び業務に必要な有資格者を必要数配置しているか。	○
施設管理体制	①利用実績に関する帳簿が作成され、適切に保管されているか。	○
	②業務日誌等の報告書、点検記録は適切に保管されているか。	○
	③生じた事故の記録は保管されているか。	○
研修体制	計画的に研修等を実施しているか。	○
市との連絡	①各報告書や事業計画書が適切に提出されているか。	○
	②緊急時の連絡体制が明確化されているか。	○
再委託等	①指定管理業務の全部、または主たる業務を第三者に再委託していないか。	○
	②市の承諾なしに、業務を第三者に委託、請け負わせていないか。	○
	③再委託先から適切に業務報告をさせるなど、再委託先の業務を適切に管理しているか。	○
利用許可	①利用者の平等な利用が確保されているか。	○
	②利用までの手続きが円滑に処理されているか。	○
利用料	①利用料の徴収は適切に処理されているか。	○
	②利用料の減免の手続きは適切に処理されているか。	○
施設等の維持管理	①法定保守点検は点検内容、時期等が法令基準に基づき確実に実施されているか。	○
	②点検によって異常等が認められた場合、速やかに修繕、交換及び調整等の適切な処置が実施されているか。	○
	③施設、設備等が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか。	○
備品の維持管理	備品の保管及び管理は適切であるか。	○
施設等の清掃	整理整頓及び定期的な清掃が適切に行われているか。	○
危機管理等	①(夜間等)職員不在時の警備体制が明確化されているか。	○
	②不審者等に対応するためのマニュアルが整備されているか。	○
	③鍵の管理は適切に行われているか。	○
	④災害発生時のマニュアルは作成されているか。	○
	⑤災害発生等を想定した避難訓練を年2回以上実施しているか。	○
情報管理	個人情報等の管理が適切に行われているか。	○

(2) 経営の状況

資格	指定管理者の申請資格に抵触する事項はないか。	○
収支状況	適正な経費の執行管理が行われているか。	○

適否基準

「○」：適切である。 「△」：概ね適切である。 「×」：適切でない。

3 利用者意向調査の結果

(1) 指定管理者が行った利用者意向調査の結果

①利用者意向調査の実施内容	ア 調査方法 指定管理施設において、紙媒体による実施。 無記名にて記入のうえ、施設へ直接提出。 イ 回答者数 314人 ウ 質問項目 別紙参照
②調査の結果	別紙参照
③調査の結果得られた主な意見・回答	【日々の活動について】 いつも子供達と親しみを持って察していただきとても感謝しています。 第二の我が家のような存在です。先生方には心から感謝しています。 人数が多い時は外で遊ばせてほしい。 子どもへマンガ等を読む時間や読む姿勢について注意してほしい。 子どもひろばの支援員数が、児童の人数に対して少ないのではと感じる。 男性の支援員の方が子供に注意をする際、子どもが怖かったと感じている。 お休みや遅刻等の連絡の際に先生方がお忙しい中お電話するのが毎回恐縮なので、学校のよう にオンライン化していただけたら嬉しい。 【おもちゃやプログラムについて】 本やおもちゃの入れ替わる頻度がもう少し多いと良いと子どもが言っていた。 毎月のプログラムカレンダーを配布するのではなく、アプリ等で見られたら良い。 【仕出し弁当について】 仕出し弁当の店を再検討していただきたい。 【運営・施設について】 子どもから支援員の名前がわからなくて困ると聞いているので、名札をつけてほしい。 【児童対応について】 娘は発達障害がありますが、職員の方たちの娘への理解や接し方は素晴らしい。まめにその 日の様子を伝えてくださり安心して利用できる。

4 指定管理者による自己評価

(1) 利用者の要望等を把握し、それらを反映する取組についての評価

定期的なアンケートの実施、保護者懇談会の開催、児童のリクエストBOXの設置やこども会議の開催を通じ、要望等を確認している。その内容の分析を行い、必要に応じ、改善策を利用者へフィードバックしている。
--

(2) 様々な媒体を用いた利用者への情報提供についての評価

毎月のお便りに加え、メール、HPを活用し、利用者へ情報を伝えている。日々の様子については、連絡帳やお迎え時の会話や、電話などを通じ、密なコミュニケーションを取るよう努めている。さらに定期的に保護者懇談会を開催し、その際にも情報提供をしている。

(3) 全体的な評価

前年度から継続し、放課後かまくらっ子事業の理念である、出あう・つながる・ふるさどで自ら育つを根底に、さらにバージョンアップをすることができた1年と考えている。各施設でこどもまんなかをテーマに様々な取り組みをすることができたと自負している。こどもたちの自主組織としての「委員会」活動では、おやつ・おもちゃ・図書など多岐にわたり、こどもたちが自ら考え、実際に予算を与えて運用する姿は、こども主体の活動をする上で大きな勇気を得た。一部施設では保護者懇談会に加え、保護者との面談を実施し、保護者との対話も心がけることができた。面談をした保護者からの反応は概ねよく、今後の継続や拡大にあたっては、さらに保護者も施設運営に巻き込んでいく方法を工夫して重ねていきたいと考える。

5 総合評価

総合評価

- ・報告書から毎月、多様なプログラムを実施していることがうかがえる。施設の近隣の企業への見学、大学生の講師によるフラダンスや、町内会の方をお呼びし片瀬こま体験など伝統活動に触れる機会を設けており、子ども達に豊かな体験活動を提供しており高く評価できる。
- ・写真を使用し実際の雰囲気が読み取れる報告書となっている。
- ・市の職員が施設への訪問をした際に、子ども達が自ら居場所をつくりたいというアイデアを支援員が前向きに受け止め、実現に向けた取り組みがなされていた。こうした、試行錯誤しながらも子ども達の声に耳を傾ける姿勢はぜひ継続していただきたい。また、施設内に日々の子どもの活動の写真や、成果物を掲示している等、子ども達が利用したくなる工夫が凝らされている。保護者に対しての活動報告の発信ともなっており素晴らしい取り組みである。
- ・アンケート結果では、多くの施設が保護者から高い満足感を得られており高く評価できる。

6 放課後かまくらっ子推進部会の意見

- ・利用者アンケートの以下の項目について、一部若干の数値下落があるものの依然として高い評価を得ており、各施設ならびに指定管理者の日々の努力を推察できる。
- ②お子さまはかまくらっ子に対してどんな思いをお持ちですか？
- ③安心してかまくらっ子を利用できていますか？
- ④スタッフの対応について、どのようにお感じでしょうか？
- ⑤スタッフのお子さんへの接し方について、お子さんはどのようにおっしゃっていますか？
- ⑦お子さまは、プログラムについて、どのような思いをお持ちですか？
- ⑧プログラムの種類はどのようにお考えですか？
- ・近隣の中学高校の部活動、大学のゼミや部活によるプログラム、地域の商店街、企業、消防署、NPO、ボランティア団体によるプログラムを多々提供しており、地域との繋がりを育んでいる様子が伺える。
- ・外部事業者による仕出し弁当について「美味しくないから子どもが食べてくれない」といった保護者の声や、アンケート結果でも一定数より「美味しくない」の評価があがっている（施設によっては美味しいと回答した割合よりも、美味しくないと回答した割合が上回っている）課題に対する改善策を期待したい。
- ・「うちのこどもは発達障害を抱えているが、施設のスタッフみなさんの理解や接し方が素晴らしい」という声がある一方、「支援員が子供に注意をする際、厳しく接していて（当事者ではない我が子が）その様子を見て恐怖を感じている。しっかり注意をすることはありがたいが、周囲の子供へも配慮をお願いしたい」という記載があった。日々、不断的努力によって研鑽を積まれていると察するが、支援員の子どもたちへの接し方について、内省と対話によって、よりよい支援に繋がられることを期待したい。